



## 夏休み期間の防犯活動と 青少年健全育成を目指し

防犯協会と暴力追放運動推進協議会  
キャンプ場と弟子屈神社祭りの巡視



砂湯キャンプ場での合同巡視パトロール(上)  
弟子屈神社例大祭での街頭防犯巡視(下)

弟子屈町防犯協会(田中富士男会長)と弟子屈町暴力追放運動推進協議会(高田中会長)主催のキャンプ地合同巡視パトロールが8月13日、砂湯・和琴両キャンプ場で行われました。利用者が多いお盆時期に、防犯活動の一環として毎年行っているもので、両協会員ほか川湯防犯協会、弟子屈地区保護司会弟子屈分区分、少年補導員連絡協議会など、関係者約40人が参加。キャンプ場利用者にチラシなどを手渡しして、事故や犯罪被害への注意を呼びかけました。

8月19・20の両日には、弟子屈神社例大祭での街頭防犯巡視を行いました。夏休み期間中の青少年健全育成事業として毎年行っているもので、約20人が参加。露店を回る子どもたちなどにキーホルダーを手渡し、啓発を行いました。

## 地域の役に立ちたい

2社による社会貢献活動



多田塗装工業の皆さんによる林業多目的センターの駐車場ライン引き



不安定で危険だった奥小学校庭前の階段を明盛建設の皆さんが改修

(株)多田塗装工業(多田征人代表取締役)の皆さんが7月23日、林業多目的センターに隣接する町道のセンターライン引きを行いました。同センターのオープン(8月5日)にあたり、同社が社会貢献活動として作業を申し出たものです。丁寧な作業により、来館者を気持ちよく迎えられるようになりました。

7月27・30の両日には、明盛建設(株)(藤田文明代表取締役)の皆さんが、奥春別小学校と周辺の環境整備を行いました。

社会貢献活動として行ったもので、2日間で延べ20人以上が参加。手分けして、体育館横の側溝の取り換え、通学路歩道の草刈り、校庭前階段の改修を行いました。

### 町の話



### 町の話



### 町の話

## 屈斜路湖の未来を考える

屈斜路湖遊漁フォーラム



パネルディスカッションで遊漁振興について意見交換

屈斜路湖遊漁フォーラムが8月22日、摩周観光文化センターで行われました。

町では、釣り場として全国的に注目を集めている屈斜路湖について、てしかがえこまち推進協議会エコツアーリズム推進部会(屈斜路湖遊漁プロジェクト)検討委員会の協力のもと、遊漁振興条例の制定を検討しています。屈斜路湖を訪れる釣り人がもたらす、観光業をはじめとした地域経済への波及効果に着目したもので、魚類資源への負荷を最小限に抑え、素晴らしい自然環境を守りながら、遊漁振興を目指していくことが目的です。

フォーラムは、条例の制定について考えるため開催されたもので、観光関係者や釣りの愛好家など約30人が参加。「屈斜路湖遊漁振興条例」(仮称)素案の概要についての説明や、屈斜路湖での釣りの特徴についての紹介が行われました。

また、扇谷勝さん(NPO法人「渚滑川とトラウトを守る会」理事長)、橋本收さん(同副理事長)、澤田耕治さん(NPO法人「北海道ツーリズム協会」秋別湖グレートフィッシング担当)、中嶋康雄さん(社摩周湖観光協会副会長)、佐藤豪さん(地元釣り愛好家)によるパネルディスカッションが行われました。

フォーラムの結果と、皆さんから寄せられた素案に対する意見は、条例づくりに生かされます。



ウッドデッキが備えられた作業室で木工に取り組む親子

## 木育や地域の活動拠点に

町林業多目的センターがオープン

町林業多目的センターが8月5日にオープンしました。オープン式には、徳永町長や八幡町議長、中野亨根、西部森林管理署長などが出席し、除幕式などで祝いました。

同センターは、2008年から休館していたクアハウス屈斜路(屈斜路湖畔伏地区)を改修したものです。林業研修や木育体験など林業の活性化を中心に、地域の皆さんのコミュニティの役割も担います。式で徳永町長は「皆さんからの強い要望もあり、今回のリニューアルオープンとなりました。多くの方に利用してほしい」と話しました。

式に引き続き、夏休み期間中の恒例行事となっている「夏休みトンカチ広場」が、同センターで行われました。

町と町森林組合の共催で毎年行われているもので、今年で16回目。建設現場で残った角材などを利用して、巣箱などを作る催しです。参加した親子約30人は、オープンしたばかりの木育等体験作業室で熱心に作品作りを行っていました。

看板の除幕式でオープンを祝う